

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念（存在意義・パーパス）

インターネットの技術革新をリードし、画期的なサービス・プラットフォーム提供でネットワーク社会の発展に貢献。

売上高
3,800億円営業利益
460億円中長期売上高
5,000億円

② 中長期の経営戦略

1. コアビジネスの徹底強化

サービスインテグレーション領域で複数年大型ネットワーク構築案件に対応し、売上伸長加速と利益向上を実現。

3. 新規領域への取り組み

既存コアビジネス強化と並行し、次の成長に向けた新規領域への積極的な投資と事業展開を推進。

2. 高付加価値ITサービス開発

インターネット関連技術を源泉にネットワークサービス開発。インターネット関連ネットワーク・システムの安定運用と並行し、日本企業等のIT需要に対応。

4. 事業基盤強化

ネットワーク社会を支える仕組みとしてのITサービス提供基盤を継続的に強化し、市場拡大に対応。

③ 対処すべき課題

① ICT利活用の急進への対応

- ・ コロナ禍以降の企業・官公庁のICT利活用急進に対応し、継続した市場拡大を獲得する必要がある。
- ・ 信頼性・付加価値の高いネットワーク・システムサービスを需要に合致した形で創出・提供することが重要。

② 人材獲得・育成の強化

- ・ 事業成長に沿いながら優秀人材の一層の獲得と育成が非常に重要。
- ・ 人的資本の継続的な拡充が経営理念実現の鍵。

③ 技術イニシアティブの維持

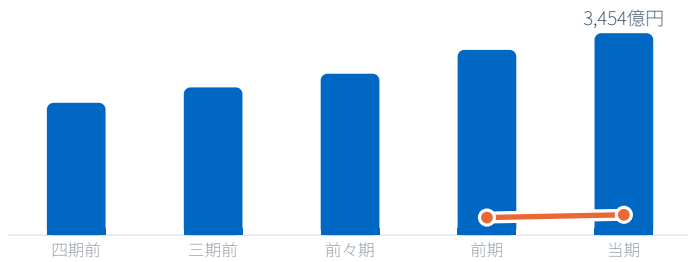
- ・ インターネット技術のイニシアティブを取り続け、高速化するネットワークとコンピューティングで新たな価値創出が必…

面接で使えるポイント

- ・ 2027年3月期に売上高3,800億円・営業利益460億円を目指し、中長期で5,000億円規模への伸長を視野に…
- ・ コロナ禍を契機とした企業・官公庁のICT利活用急進という市場機会を捉え…
- ・ 100年に一度のインターネット技術革新をリードし、多様な人材が誇りと自律性を持って挑戦できる職場で…

証券コード 3774

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
3,454億円営業利益率
10.1%財務健康度
60点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 61.1（当サイト算出の参考指標）

要するに

1992年の設立以来、国内インターネット関連市場の拡大とともに事業を展開してきた

主力事業・セグメント

- ・ネットワークサービス・SI 99.1%
- ・ATMOperation 0.9%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高3,454億円の事業規模
- ・営業利益率10.1%の安定した収益性
- ・将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

平均年収
747万円

情報・通信業内 148位/592社

平均年齢
37.5歳

情報・通信業内 335位/593社

平均勤続
9.3年

情報・通信業内 158位/593社

女性管理職
8.0%

情報・通信業内 296位/373社

男性育休
61.8%

情報・通信業内 238位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 株式会社インターネットイニシアティブ

